



# 吉川小だより 3月号

京都府亀岡市立吉川小学校

令和8年2月27日発行

〒621-0014 亀岡市吉川町穴川平田17番地 TEL 0771-22-1210

E-Mail el-yoshikawa@edu.city.kameoka.kyoto.jp



## オリンピックから学んだこと

ミラノ・コルティナ2026冬季オリンピックが、先日閉幕しました。日本の選手たちは大活躍で、歴代史上最多のメダルを獲得しました。スポーツ大好きな私は、連日声援を送っていました。その中で、選手のインタビューや実況で語られる話を聞いて、心に残ったことがいくつかありました。それを今月の集会で子どもたちに話したので、ご紹介します。題して、「オリンピック選手のすごいところ」。

### ① 周囲の方の支えに心から感謝すること

オリンピックに出場する選手は、そこに至るまでに多くの方々に支えてもらっています。一流の選手ほどそのことを自覚していて、常に感謝の言葉を口にしています。どんな名選手も、自分一人では限界があるのです。

### ② 挫折に負けず、あきらめずに取り組み続けること

オリンピックに出場するまでに、失敗をしない選手はいません。悔しい思いをしたり、時には競技をやめようと思ったこともあったようです。しかし、気持ちを切り替えて目標を設定し、練習を続けてきたからこそ、夢の舞台に立てたのです。まさに、『継続は力なり』です。

### ③ 相手の選手を尊敬し、お互いの良さを認め合うこと

オリンピックに出場しても、達成感を味わえるのはほんの一握りの選手のみです。これまで努力を続けてきたからこそ、負けたときの悔しさは、私たちの想像以上のものがあると思われます。しかし、悔しい気持ちを内に秘めて、相手選手の素晴らしさをたたえる選手のなんと多いことか。これぞ、スポーツマンシップの極みです。

競技が一流の選手は、心やふるまいも一流なのだということを、改めて実感しました。子どもたちには、日頃の自分の生活や考えを見つめ直し、成長するきっかけにしてくれればと願っています。

最後にもう一つ。SNSについてです。国内外を問わずたくさんの方が、選手に向けて賞賛や感謝の声を届けましたが、一方で選手や関係者を傷つけるような声をSNS上で目にもすることもありました。様々な意見や考えはあってよいと思いますが、言葉の使い方についてはよく考えてほしいと思ったことも付け加えておきます。

校長 谷口 浩之